



発行 座光寺地域自治会
編集 公民館委員会
広 報 部
印刷 (株)南信州新聞社

座光寺風景

冠雪の南アルプス連峰

冬晴れに宮崎から南アルプスを遠望する

— 人のうごき —	
世帯数	1,534 戸
人 口	4,698 人
男	2,303 人
女	2,395 人
(21年11月末日現在)	

を拠点に、活躍しているピアノニスト竹内英仁さんが、父親が原地区出身で座光寺小学校卒業生である縁で来校し、新しいピアノで、モーツァルトの「トルコ行進曲」ショパンの「英雄ポロネーズ」など六曲を奏でました。演奏の合間に、その曲にまつわる物語なども動作も交えて紹介し、子

音を愛する人になってほしい」とその願いを語りました。演奏会は、チェコのプラハを拠点に、活躍しているピアノニスト竹内英仁さんが、父親が原地区出身で座光寺小学校卒業生である縁で来校し、新しいピアノで、モーツァルトの「トルコ行進曲」ショパンの「英雄ポロネーズ」など六曲を奏でました。演奏の合間に、その曲にまつわる物語なども動作も交えて紹介し、子

多数の父母や地域住民の参加の中、新しいピアノのお披露目の式と演奏会が行なわれました。湯澤地域自治会長は挨拶で、新しいピアノを購入したいきさつを話し、「音楽を愛する人に悪い人はいない。音楽を愛する人になってほしい」とその願いを語りました。演奏会は、チェコのプラハを拠点に、活躍しているピアノニスト竹内英仁さんが、父親が原地区出身で座光寺小学校卒業生である縁で来校し、新しいピアノで、モーツァルトの「トルコ行進曲」ショパンの「英雄ポロネーズ」など六曲を奏でました。演奏の合間に、その曲にまつわる物語なども動作も交えて紹介し、子

地域自治会、小学校にグランドピアノ寄贈 ピアノニスト竹内さんがお披露目の演奏会

体育館のピアノは、長い間使われ、音色も衰え、音楽会などに支障をきたしてきたことから、このたび地域自治会は新しいグランドピアノを購入し、小学校に贈りました。ピアノは演奏用でカワイズインと言っ立派なものです。購入費は、学校の必要な時に応援するために蓄えてきたお金に自治会費を加え約百四十万円でした。

供たちはその演奏に魅了され、音楽への興味を掻き立てられたようでした。

コンサートを聞いて

PTA主催の公演会。竹内英仁ピアノレクチャーコンサートは、多数の保護者も参加し今までになく盛大なものとなりました。

さらさら星変奏曲・トルコ行進曲などなじみのある曲目を楽しいお話を交えながら六曲演奏して下さり、低学年の児童も飽きる事無く熱心に聴き入っていました。新しいピアノとピアノニストの生演奏は児童や保護者にとって大変すばらしい贈り物となりました。

(PTA会員 佐々木君子)



竹内さんのレクチャーコンサート

公共交通

乗合タクシー上市田線 再構築について

〈経過〉

現在、飯田市全体では、数多くの公共交通機関（JR飯田線、信南交通の路線バス、タクシー会社の乗合タクシー等）がある。当座光寺地域に關係しているそれは、JR飯田線と信南交通阿島循環線、乗合タクシー上市田線がある。今、再構築しようとしているのが、「乗合タクシー上市田線」である。

上市田線は、長らく信南交通が路線バスを走らせてきた。利用者の減少と共に、路線の度々の見直しと増便減便を繰り返して、最後にはJR飯田駅⇨下市田厚生連病院間を、一日三往復の市民バスを運行していた。この状態は、平成十七年四月から始まり、平成二十一年三月で終了した。この間、目標利用者数一便当たり十人としていたが、実際は四人程度の利用しかなかった。見直しの末、この制度は廃止。かわって登場したのが、「乗合タクシー」である。

〈乗合タクシーへ移行〉

今年の四月の事である。上市田の市田橋⇨鼎市立病院間を、予約制で、一日三往

復（平日のみ。土日祝日運休）運行している。ところが、利用者数が、予想外に少なく、今年の四月～九月までの六ヶ月間で、延べ九百五十四人（市民バス時代の昨年同時期は、三千六百六十二人の利用があった）となってしまう。

三千六百六十二人のうち、二千二百人の方が、利用できなくなってしまうと見る事ができる。

〈対策〉

この事を重くみた地域自治会では、「乗って残そう乗合タクシー」の考え方の元で、今まで利用していた方が、利用できなくなってしまうその原因を見つけたし、より多くの方々に再び利用していただけの様に、改善をしようとしています。

まず、関係地区会世帯でアンケート調査を実施致しました。配布数五百四十八世帯、回収数三百七十四、その中で、今年三月まで利用していた方への意見で、利用しやすくなった二十%に対し、利用しづらくなった八十%、利用者が減った様子が推察できます。また、公共交通機関を必要とする方は、

高校生、高齢者、障害者等とアンケートからでしたが、その方が居る世帯（回収数の二十%）のうち、利用しやすければ五十%位の世帯が利用できる様になる様に読み取れます。

の方からご意見をお聞きして参ります。

高校生については、後日、対応する様計画しております。様々なご意見をうまく積み上げて、最大公約数的な部分を見つけ、それを飯田市へ要望して、その結果が、多くの住民にご利用していただける乗合タクシーになるようにと期待しております。

皆で集える 夏祭り!! やりましょうよ



かつて、座光寺商工会の主催で開催されていた夏祭りが途絶えて久しい。

近年、地域住民が一つになって楽しめる夏祭りがほしい。この要望が寄せられました。自治委員会ではいろいろ検討し「やりましょう」との結論になりました。先の座光寺麻績の里振興会議に提案し、承認を得ましたので、来年度夏祭りの開催を目指し準備をすすめております。

実行委員会のメンバーは、商工会、公民館、愛好会、麻績竹青の会、消防団、壮年団、小学校PTA、保育園保護者会、麻績振興委員会、座光寺地域自治会など、多数の団体の代表の方々に構成されています。今までに、四回の実行委員会が開催されまして、各参加団体が、前向きに取り組み、表明されています。また次の様に考え方をまとめました。

- ・開催日は、飯田りんごんの次の日に、夏のイベントを集中させて実施する。
- ・各地区も、何らかの形で参加していただける様に、働きかけをいたします。

【連絡先】
座光寺地域自治振興センターまたは、最寄りの自治委員会まで。





飯田工業高校全景

飯田工業高校跡地活用検討に対する取組姿勢について

飯田工業高校は、平成二十五年三月をもって、利用がなくなり、それ以降、この施設がどう利用されていくのか、座光寺地域にとりましては、大きな関心事であります。県の土地、建物であり規模からしても、いくら地元と言えども、座光寺だけで、どうできる問題ではありません。では、どうするのか、この点について、去る七月二日、自治会三役総文部合同会議の席と、十月二十七日の麻績の里座光寺振興会議の席との二回にわたり、飯田市企画課の方を招き、市の姿勢をお聞き

しました。そのお話をまとめれば、次の様になります。

- 1、跡地利用の検討は、広域連合ではなく、飯田市ですすめる。
- 2、市として、どうするといふ具体的な案は、未だ無い。
- 3、飯田市と座光寺で、考案方を共有したい。

以上です。飯田市と座光寺とは連携していく事は確認できましたが、それ以上の事は、未だ何も進んでおりません。進展がありましたら、お知らせしますが、地域としては市の動向に関心を持って見守っています。

◆飯田工業施設等の現況

敷地面積	
校舎等敷地面積	一八、三〇二㎡
運動場面積	二二、二七七㎡
校地総面積	四八、五七九㎡
施設等	
HR教室	一六教室
体育館数	一棟
トレーニングルーム	
格技室、合宿所等併設	
専門学科教室	二九教室
テニスコート	
弓道場	
プール 等	

座光寺山の守り

財産区議長 下 村 征 夫

七月より新しく財産区議長として、座光寺山の守りをさせていただくことになりました。六十有余年麻績の里で自由暮らしを暮らさせていただいたお礼と恩返しに気持ちで議員十五名の皆様と協力してその任を努めさせていただきます。

私の子供の頃、山林を売り、消防自動車や小学校の修理、公共物品の購入をしたと聞いております。近年ではセンター前の駐車場整備に八百五十万円ほど補助しました。山林は収入を上げるまで六十、百年の期間が必要で、現在木材価格は低迷し、座光寺山は管理のみですが、先祖より残していただいたこの山より将来財産収入が出るよう努力します。

山林の重要なところは財



クマによる被害樹

産価値はもとより、人間が生きていく上でもっとも必要な水源の確保、これがまず重要。山へバランスよく樹木を植えて樹林が空気を清めて緑の力で地球温暖化を防止することも必要です。また、景観として、座光寺山は河原中央より見れば三つの峰より成り立つ座光寺富士のすばらしい風景も見せてくれます。

財産区の仕事は、他町村の道路の整備と確保、まつたけ山の手入れ、気候の変化時、大雨大風時の見廻り等行っております。

自然界で生活するものは人間だけではなく、熊猪も人間も含めてすべて動物です。山へ針葉樹を植えすぎたようです。このため動物の食料の少ない時は座光寺でも中央道まで熊の出没を見ます。何回も出没しました。長野県で農林業で約四億円の野生動物の被害が出ています。また植物も単一化されてしまい心配です。このような理由で、水源・動物の食料、気候等を考えての伐採植林を考えています



財産区議員の皆さん

が人間優先の社会です。共存とはいきませんが、動物も人間も森も共存できるように近づける状態になりたいと思います。

座光寺村と飯田市とが昭和三十一年合併し、座光寺共有林が財産区となりました。以来二百三十町歩の山林と五千五百万円の資産を守り次の代へ渡していけるよう努力いたします。

毎年十一月に里山の下草刈りを行っています。公共の財産を皆で守り、またふれて見る機会ですので一度山の方へも上がって来てください。

子どもは地域の宝 「座光寺の子供を語る会」開催される

去る十一月十四日(土)、小学校PTA、自治会委員、民生委員などおよそ九十名が小学校で「座光寺の子供を語る会」を持った。

本年は、小学校の企画で、学校や父母、地域が連携して考え合う必要のある課題を三分散会に別れて話し合った。時間の関係もあり、具体的な解決策を生み出すには至らなかったが、本年は話題も焦点化され、その上保護者の参加も多く、その悩みや思いも理解でき、当面する課題が浮き彫りになった。

三分科会共、参加者が更に踏み込んで考え合っていく必要性を共通認識し合えたことは、今後に繋がる大きな成果であった。各分散会の概要は次のようであった。

第一分散会

「子どもの地域におけるルールを考える」

最近の子供の生活はゲーム遊びが中心で、ゲーム機の持つ危険性の認識も薄く外遊びのできない子も増えている。また、留守家庭が増え、大人不在の家での生活や友達関係に不安を抱く。更に、道路などの自転車遊びも危険で、地域としても何らかの約束事が必要ではないか。

話し合いから

携帯電話やゲーム機の危険性、帰宅時間、留守家庭に勝手に上がり込むトラブル、互いに話し合うことの難しさ



全体会

など、様々な問題が出された。家庭ごと事情が異なり、統一したルールづくりは難しい。各家庭がそれぞれルールを定

め、それを守ることで、近所・親同士が子供に声掛けできる関係が大切で、親子・親同士・地区民同志の信頼関係づくりがかぎになる。

更にその実情を詳しく把握し、引き続き課題解決に向け努力し合うことが必要である。

第二分散会

「放課後の子どもの過ごし方について考える」

三世代同居家庭の減少や共稼ぎ家庭が多くなり、放課後や休日の生活が心配だ。安全で安心な放課後等の生活のあり方を考える必要がある。

話し合いから

児童センターの実情について報告を受けた後、それを補完する「放課後子ども教室」の設置の可能性について、他地区の状況などを参考にしながら、指導者の確保、設置の目的、地理的条件を踏まえた設置場所等が話題になった。「忙しいということ、親が子供をそのペースに巻き込んでいる。子供たちだけで留守をする自立の教育も必要である。ぎりぎり、どこまで支援を仰ぐのかそのような検討も必要だ。」と、親の姿勢を問う意見も出された。

今後、重要な課題として、みんなで議論し、煮詰めていく必要性が認識された。



分散会

第三分科会

「地域行事への参加について考える」

様々な地域行事が行なわれ、その必要性をみんなが認めているところであるが、その参加は少ないのが現状。行事内容や参加について考え合うことが必要である。

話し合いから

学校と公民館から、実施している地域行事のねらいとその活動状況が報告された後、地域行事の内容と参加を増やす方策等につき意見交換した。行事が、子供にとって無理なく、感動できるものになるように、学校やPTAと公民館等が計画段階から連携しあうこと、子供が主役になり活動する場を大切にすることが積極的参加に繋がる。その意味からも、来年行なう夏祭り、公民館主催の「麻績体験学校」の内容についても話し

合っていく。また、正月行事の「どんど焼き」が、地区によってほださないでいる問題が提起され、先ず自ら方策を見つけ出す行動が必要であるとの意見が出された。

語る会に参加して

公民館長 小島 稔

○「鳥に巣があるように、人間には家族が必要」(山田洋次) 面倒くさいけれど、言葉を掛け合って、助け合って生きていく家庭が基盤です。家庭があつて子供は育つ。子育ては親が主役。

今年度、親の参加が五十五名と多く、充実した会が持てた。しかし、在籍家庭数から言ってまだ満足できる数ではありません。更に多くの主役の参加が期待される場所です。

○厳しい子育ての状況に置かれてある家庭があることが分かりました。どの子にも健全な育成環境を整えるのは社会の責任です。行政・民生委員などそれぞれの立場で努力しておられるが、それでも苦しんでいる方があれば手を差し延べるのは地域の力です。

献身的に子供を指導する人の存在がかぎになります。公民館も関係の皆様と共に考え合って行きたい。

○ 具体的な方策を立てるには、関係者が共通認識に立つて考え合える情報が大切です。プライバシー保護には細心の心配りをしつつ、的確な情報を提供し合うことが必要です。

○ 第一分散会で、「子供問題も地域で解決できることが多く、かぎとなるのは、隣近所、関係者同士の信頼関係である」との重要な指摘があった。

基本構想の「心通い合うふれあいの里づくり」の推進が、地域の教育環境づくりの基盤になる。挨拶・声かけ、様々な交流の場への参加などを通して信頼関係を築くよう、一人ひとりの心構えが大切です。

○ 「考える会」を年一回の開催行事化してしまつては、成果は実らない。

今後、諸機関が緊密な連絡を取り合いながら、地域のよりよい教育環境づくりのために、適時に学習会や協議の場を設け、具体的な方策を生み出すよう努めて参りたい。



科学工作の楽しさと地域を学んだ 「座光寺子供まつり」

十一月三日文化の日、保育園児十八名を含む子供百五十名に、父母などを加え三百名近くの参加者により、子供に豊かな体験をと、公民館育成部が企画する「麻績体験学校」の一つ「座光寺子供まつり」が行われた。

午前は、科学する心をテーマに、科学工作とロボット体験を、飯田工業高校とおもしろ科学工房の皆さんの協力により行い、午後は、地域の歴史に触れるウォークラリーを、それらの保存に努力している皆さんの協力を得て行った。

僕の宝物ができたよ

シャボン玉の中に はいちやった



電子オルゴール作り

おもしろ科学工房は、「紙トンボ」と「巨大シャボン玉」体験。誰でも手軽に作れて飛ばせる紙トンボは、小さな子供たちに大人気。保育園の先生などの手助けで仕上げ、大喜びでした。

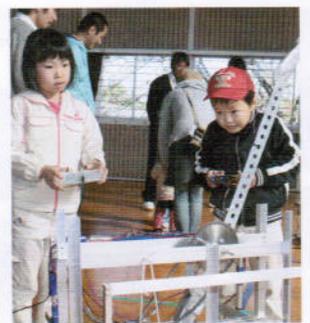
びっくりしたのは、すっぽり人を包んでしまう「巨大シャボン玉」。二回三回とその中に入る子供もあり、「ど

飯田工業高校生の指導は、「電子オルゴール」「ペーパークラフト飛行機」づくり。ハンド付けなど難しい作業もあったが、高校生の丁寧な指導で、一時間ほどで完成した。完成品を手に喜ぶ子供と生徒の笑顔。製作品は子供の宝になり、工作は得難い交流の場でもあった。



巨大シャボンに入る

うしてこんなに大きなシャボン玉になるの？」その不思議さが心に残ったようでした。



ロボットで遊ぶ

知らないことが

いっぱい分かった

午後は、南本城↓麻績神社↓菊人形↓高岡古墳↓畦地古墳↓水月庵↓耕雲寺と、地域の宝である史跡を父母等と共に地図をたよりに巡った。

「友達が四人できたし、知らないことが一杯わかってよかった」は、リーダーを務めた高学年児童の感想。地域を心に刻む良い機会となりました。

主催した千賀育成部長は、次のように感想を述べた。

「来年もまた来るよ」と子供が声を掛けてくれたのが、うれしかった。新しい内容を盛り込んだが、多くの皆さんの協力により無事終了できた。父母からも『地域を知ることができて良かった』との感想も頂いた。来年はPTAや学校などともっと連絡を取り合い、更に良い体験ができるよう工夫したい。」

園原「月川」で心の休養を！ 在宅介護ふれあい相談事業

健康福祉委員長
清水 明

日頃在宅での介護者と関係者十八名が秋の気配が感じられる阿智村「月川」に到着。途中、運転手の配慮により、「駒つなぎの桜」「神坂神社」の見学、歴史の跡をたどりながら、とちの実拾いも行いました。

月川では「温泉」で日頃の疲れをいやした後、本日のメインの昼食会。当日、参加された皆さんは、それぞれに在宅介護にあけられる毎日を送っています。介護と介護の間のつかの間の休日ですが、皆さんリフレッシュされて、対話がはずみました。今回は男性の方も何人か参加され、日頃の介護の様子を話されていました。

健康福祉委員会では、在宅介護ふれあい相談事業を年間二回計画しています。座光寺地区で在宅介護されている方が、少しでも、元氣を取り戻していただく一助になれば幸いです。

長野県の一帯の町、飯綱町では今「認知症事業」の取り組みに町をあげて推進しているとお聞きしました。できる事から取り組みます。

敬老祝賀会盛大に行われる

十月二十五日座光寺地域敬老祝賀会が公民館に於いて行われ、肌寒い中この日を待ちかねていた方々が、公民館へ集まってくれました。当日の参加者は八十六名でした。

式典では来賓の方の祝詞で尊敬の言葉や長い年月の労に對しねぎらいの言葉を申されました。小学校六年生の園原桃香さんと、中学三年生の赤羽目麻衣さんから作文の披露があり、感謝や思いやりの言葉に感動しました。出席者の中の山田豊太郎さんは今年も手作りの品物を全員にプレゼントして下さいました。山田さんにとつて作るという事が生きがいでしょうし、健康の秘訣なのかわかりませんが、心をこめた作品には頭が下がります。

続いて宴会に入り、今年



～小学校 6 年生による心を込めた歌の披露～

初めて座光寺音頭の披露があり、懐かしく思われた方も多かった。踊り・歌・ハーモニカ等の出し物に会場は心からの笑顔があふれ、「おれ元気が出たよ」との言葉も漏れて、とても嬉しく思いました。知り合いの方と親睦を深めたり和やかに過ごしていただき、有意義なひとときだったような気がします。体に気を付けて来年もまた来て下さい。(健康福祉委員長 黒川)

高齢者の皆さんが近くの会所に集まって近所の皆さんと一緒に楽しく過ごせる時間を設けてあげたいという思いから座光寺地域六会場で「いきいき広場」を開いております。

年間を通して毎月二回、一日二時間位です。内容は、体操をしたり、ゲーム・お花を生ける・歌・ちぎり絵・折り紙・工作・料理・昔を思い出しましょう等、年間計画を立て、看護師・保健師の指導のもとで行っています。私達健康福祉委員は会場の設営、お茶の準備等のお手伝いをしています。

今のところ七十名位が参加しておりますが、何処の会場も和やかに仲良く過ごされておられ、またこの日を楽しみにしてくれていることに私達は嬉しく思い、これからも協力していきたいと考えております。

皆さん女性は勿論男性も誘い合って、参加しましょう。楽しい事が一杯ありますよ！

高年齢者の皆さんが近くの会所に集まって近所の皆さんと一緒に楽しく過ごせる時間を設けてあげたいという思いから座光寺地域六会場で「いきいき広場」を開いております。

年間を通して毎月二回、一日二時間位です。内容は、体操をしたり、ゲーム・お花を生ける・歌・ちぎり絵・折り紙・工作・料理・昔を思い出しましょう等、年間計画を立て、看護師・保健師の指導のもとで行っています。私達健康福祉委員は会場の設営、お茶の準備等のお手伝いをしています。

今のところ七十名位が参加しておりますが、何処の会場も和やかに仲良く過ごされておられ、またこの日を楽しみにしてくれていることに私達は嬉しく思い、これからも協力していきたいと考えております。

皆さん女性は勿論男性も誘い合って、参加しましょう。楽しい事が一杯ありますよ！

参加者の声

- 近所で開いてくれて有難い。
- 生まれた所が違い知り合いがいなかったが、ここに参加したことで知り合いが出来た。
- 「私たちのふるさと座光寺」の本から昔のことを語り合ったのは良かった。
- 近所の人と一緒に来られるのが嬉しい。楽しみにしている。
- 今年から参加した。委員さんが声をかけてくれたお陰だ。
- 年を取るとここしか来るところがない。雨が降ると悲しいなあ。
- ここは私の生きがいだ。
- 来てみんなの顔を見て話すると元気になるなあ。
- 家では言えない事がここでしゃべれるし笑えることがいい。最高の場所だなあ。



ちぎり絵に挑戦



タオルを使って身体を伸ばす

- 夫を介護しているが、この時間だけは自分の時間にさせてもらっている。
- みんなと一緒に物を作るのは楽しい。励みになる。
- 委員の皆さんがお茶の準備をしてくれるので気楽に参加できる。有難い事だ。
- 体操が嬉しい。家では出来ないがここではできる。体が軽くなる。
- 待ち遠しい。ここしか来るところはないし、出来るだけ参加したい。
- 毎回楽しい。特に手芸と、話をする時間が一番いいなあ。
- 参加している人が来ないと、どうしたのかなあと心配する。また心配してくれることが有難い。
- 一人で留守番をしているので、ここに来ないと一日中しゃべれないが、ここに来れば話が出るし笑える。



金魚草が生える川に

河川水質検査結果

環境衛生委員会

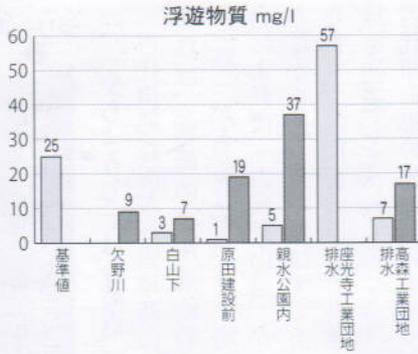
今年も水質検査を実施しました。八月三日に採水、例年と異なり異常気象による前日までの連日の雨、検査結果に影響があったかもしれませんが、データを取り続ける事で、蜚、シジミ、メダカなどの環境保全や、監視に活用できればと思います。

久しぶりの強い日射の下、採水を行いながら、ふと、小

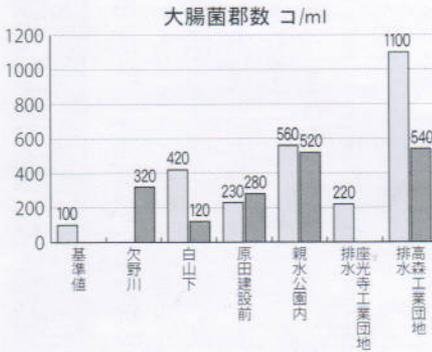
学生の頃、毎週のように魚取りに来ていた事を思い出しました。麦藁帽子にランニングシャツ、半ずぼんにゴムの短靴、手にバケツと網。当時は風景、道、川の形態が随分と変わったと思いました。

川の中の水草にも変化が、金魚草(バイガモ)が見当たりません。昔は駅近くの線路脇の川にも生えていました。

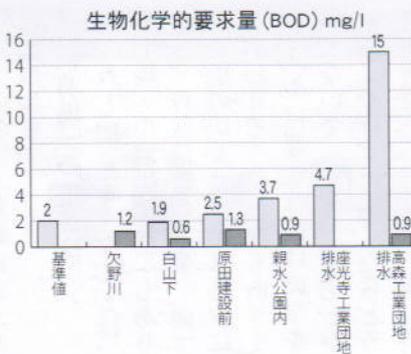
これは座光寺だけではなく伊那中の事と聞きます。知り限り、松川町と鼎の一部に生えてはいます。冷たい清流を好む金魚草が座光寺の川でも見られる様になると良いと思います。



※浮遊物質
水中に懸濁している不溶性の粒子状物質のことで、粘土鉱物に由来する微粒子や、動物性プランクトンおよびその死骸、下水・工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿などが含まれます。



※大腸菌数
大腸菌数は一般に人畜の腸管内に存在するもので、これが水中に存在することはその水が人畜のし尿の汚染を受けた可能性があることを意味します。



※生物化学的酸素要求量 (BOD)
BODが高いということは溶存酸素が欠乏しやすいことを意味し10mg/L以上では悪臭の発生の障害が現れ始めます。最も広く使われている混濁の指標です。

- ※欠野川
⇨欠野川、中水用水路合流地点
- ※白山下
⇨高岡井下流白山下との混合水
- ※原田建設前
⇨江戸ヶ沢川下流原田建設前
- ※親水公園内
⇨南大島川下流
- ※座光寺工業団地排水
⇨南大島川に合流前
- ※高森工業団地排水
⇨黒沢川下流

声

社会奉仕活動に

参加しましょう

昭和二十三年生まれの私は、団塊の世代の真つただなかで育って来た。今思い返すと、常に人人人。何時でも何処でも、人で溢れ返っていた。教室では、小学校も中学校も高校の時も、常にいっぱい。机は教壇の前から、後ろの壁に付くまで、一杯に並んでいた。授業参観の日は悲惨である。参観に来られた父兄は、教室に入らず、廊下で覗いていた。廊下もいっぱいであった。修学旅行に行けば、お寺の境内は、修学旅行生でいっぱいであった。車の免許をとり自動車学校へ行けば、予約を取るのに幾時間も順番待ちした。結婚式で大宮温泉に行けば、一日に七席も八席もあって、受付ロビーは大混雑していた。そこでは、全てがところてん式に押し出されていく感じがした。

団塊の世代とは、昭和二十二年から、二十四年にかけて生まれた世代を指しており、全国で七、八百万人位いると記憶している。その世代が、結婚し子供を

産み、テレビを買い、車を買って、家を建てる等、消費と生産の両面にわたって、大きな影響を与えてきた。そんな団塊の世代も、六十才の定年を迎えた。私は幸か不幸か、定年より若干前に退職した。そして、その時以来、今度は私が社会にお返しをする番だと思いい、社会奉仕に若干の時間ではあるが、私の時間を使っている。今なら、体力は少しは残っているし、一方で子供も社会人として、独り立ちし、親としての責任も一段落したと感じ、一方で両親に未だ手が掛からないという好条件にも恵まれた。感謝感謝である。

奉仕活動を通じて知り合った仲間、今までは違った新鮮な気持ちでお付き合いをしている。かえって、私の方が力をもらっている。社会の中では、あちこちに、手を出してくれるのを待っている人や団体や組織がたくさんある。かつての場面で、あの一杯だった人々の力が、奉仕の世界に注がれれば、ちよっと手を貸してくださいと、きつと喜んでくれる人が大勢いると思うよ。

(高澤)

シリーズ 伊那郡衙への道筋「やちようじ」

一、「やちようじ」は分岐点

古代伊那郡衙が高岡地籍にあれば、郡衙の専用道路の「伝路」があるはず。場合によれば「古代東山道」がどこかを通っていたはずであり、古代東山道が上段地域を通過していたとしても、古代伊那郡の馬の飼育事情から「古代馬の道」が下段にはあったという説があります。「やちようじ」という地名は中羽場榑原紀男氏宅の北にあります。ここには現在でも旧道が残り、左右が途切れていますが、古い絵図には小さな段丘下を通旧道の痕跡があります。「古代馬の道」の通るところは水場が必要で、「恒川清水」・「さいみ塚下」・「中谷」・飯沼丹保の「西岡」と続く湧水を持つ段丘下が有力な候補地になり、その一画に「やちようじ」があります。やちようじの「やちよう」は八丁・「じ」は「路」とこじつければ、郡衙まで八丁ほどの位置になる。また、八街(やちまた)とすれば道路の分岐点ではなかるうかと、座光

寺出身の宮澤恒之さんの説でもありません。榑原家の裏切りには「道そへ」という地名、上方には「志やうせんじ」もありません。

二、「まねぞへ」は馬にかかわる集落

ここから南側に「まねぞへ」という地名があり、馬にかかわる地名か、交通関係の地名諸説があります。堂垣外橋を挟んで飯沼丹保にも「まねぞえ」があること、土曾川を挟んで両側に古い集落があったこと、丹保堂垣外遺跡には恒川級の建物址群が見つかったこと等から郡衙へ通ずる主要道路があったかと思いたくなるわけ。現在共和地区と呼ばれる一帯は、古くは流田・五郎田と呼ばれて、双方ともに大きな集落があったところであり、墳時代・奈良時代の遺物が多く拾えますが、発掘調査が行われていませ

を支える有力な集落があったと思われ。三、「羽場」の集落はこれと同じようなことは、下羽場・中羽場地区にもあります。丹保地籍の「金ノ面」・下羽場の「金井戸」は馬牧にかかわりそうだと説もあり。す。「やけ原」は焼けの字を当てないで「やけ」は宅とか駅家(やけ)に当てたらどうなりますか。「寺地」とは寺にかかわるのか、路にかかわるのかどうかこれも課題の一つと思われ。高岡地籍に古代伊那郡衙の正庁が置かれ、恒川地籍には

郡衙にかかわる官衙の建物群や郡衙を支える集落が広がっています。さらに、南は飯沼丹保の堂垣外遺跡、北は高森町の中谷遺跡から堂垣外遺跡まで郡衙関連の大きな集落が広がり、この範囲を「官衙地域」といわれています。そうなる、志の原の湿地帯を越えた「流田」「五郎田」「下羽場」「中羽場」にも郡衙を支える大きな集落があってもいいはずと思われ。次回、官衙地域のお宮やお寺に触れたいと思います。(今村善興)

地域の歴史にふれる

シリーズ

えませんが、郡衙



明治 6 年の座光寺絵図 (やちようじ周辺)

編集後記

私が座光寺に住むようになって十年が経ちました。少しは座光寺のことがわかってきたような気がしていました。が、実際に公民館委員の広報部として活動に携わってみると、驚くことが多くあります。座光寺にホテルがあるとは聞いていましたが、淡い光がほつぽつくらいにしか思っていなかったのに、驚くほど明るい光を放っている。蛍があちこちにいるのには驚きました。

また、すぐそばの麻績の館の裏に山奥でしか見られないと思っていたササユリが咲いている事も知りました。小八郎岳で見た事はありませんが、こんな近くで見られるとは。一人暮らしの老人宅の音がけ訪問をしている人が身近にいたり、麻績の里座光寺ふるさとバックなるものがあつたりするのにも驚かされました。

これも、広報作りに携わったおかげです。これからも、座光寺の新たな発見を期待し頑張りしたいと思います。(横田)

【お詫びと訂正】

前月号に誤りがございました。広報座光寺十号五ページ 火災の件数 二二六件は二一六件の誤りでした。